

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大和アレス藤沢第二工場工事計画	階数	地上4F
建設地	藤沢市菖蒲沢大谷1164番	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	362 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2016年12月19日
敷地面積	2,631 m <sup>2</sup>	作成者	大洋建設(株)一級建築士事務所
建築面積	1,727 m <sup>2</sup>	確認日	2016年12月20日
延床面積	5,663 m <sup>2</sup>	確認者	大洋建設(株)一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 83% (76 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 83% (76 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 83% (76 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	・室内環境、サービス性能への配慮 ・敷地内環境、エネルギー性能への配慮 ・資源マテリアルの確保	その他 0
Q1 室内環境	・F☆☆☆☆を採用し、空気質環境に配慮	Q3 室外環境(敷地内) ・既存植物の採用 ・メッシュフェンスの設置
LR1 エネルギー	・断熱材はグラスウール採用し、建物の熱負荷抑制に配慮 ・LED照明等の高効率設備機器の採用	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	・耐用年数の長い部品、部材を採用している ・階高、壁長さ比率を確保し、空間のゆとりに配慮している	
LR2 資源・マテリアル	・節水性能への配慮 ・再利用できるユニット部材を採用し、解体時におけるリサイクル性への配慮を行う ・防水工事のプライマーはPRTR法に該当しない仕様を採用している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される